

## 2 松江の仏像 その時代とかたち

【全6回】／開催方法：現地

まとの かつゆき  
的野克之

島根県立石見美術館  
館長  
松江歴史館  
学芸専門監



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600(納入期限：5月9日)

【日程】【全6回】 1回／月 第2金曜日  
(5/12、6/9、7/14、10/13、11/10、12/8)

【時間】10:30～12:00

### ■受講に必要なもの

【テキスト】『松江市ふるさと文庫32「松江の仏像 その時代とかたち」』

著者：的野克之

出版社：松江市文化スポーツ部 松江城・史料調査課

松江の仏像を時代毎にお話しします。しかし、いきなり松江の仏像のお話をしても分かりにくいので、その時代の全国的な仏像の様子をお話してから、具体的な松江の仏像についてお話します。また、同じ時代に造られた、仏を表現した絵画や工芸も一部紹介します。2022年に出版された松江市ふるさと文庫32「松江の仏像 その時代とかたち」を基にお話ししますが、本書に登場しない仏像も多数紹介します。

### 第1回 飛鳥時代・奈良時代・平安時代前期

飛鳥時代と奈良時代の仏像は松江に残っていません。しかし、この時代寺院があったことは判明しているので、仏像も当然ありました。どのような仏像だったのか、他県の仏像を参考に考えます。また、平安時代前期には、島根県を代表するような仏像が松江にも登場します。

### 第2回 平安時代後期

このころから松江にも都会的な仏像が登場します。また、神の姿を現した神像もたくさん登場します。

### 第3回 鎌倉時代Ⅰ

### 第4回 鎌倉時代Ⅱ

松江には鎌倉時代の仏像が数多く残ります。体の中に制作者の名前や制作年が書かれた仏像も登場します。

### 第5回 南北朝・室町・戦国・安土桃山時代

武士がスポンサーとなって仏像が造られるようになります。この地で力を持っていた尼子が造らせた仏像も松江に残ります。

### 第6回 江戸時代

庶民も仏像を造らせるようになるので、数多くの仏像が造られました。仏像の数が一番多く残っている時代もこの時代です。山陰で活躍した仏師（仏像の作者）が造った像が松江にも残っています。

### 【参考書】

『完本 仏像のひみつ』 著者：山本勉 出版社：朝日出版 出版年：2021